

がく
楽!
サイエンズ

3

石ころは
大地の絵本の巻



蒲郡情報ネットワークセンター
生命の海科学館 ☎66♦1717

いん石を拾った!?

「ちよつと変わった石を拾ったのですが、これはいん石ではないでしょうか？」

生命の海科学館には、いろいろな質問や依頼が寄せられますが、時々、普段見かける石とは違うものを持って、質問にくる子がいます。「この石なあに?」「これって化石?」などと、気軽な気持ちで持ちこんでくる石の時とは様子がちよつと違い、真剣なまなざしです。

「いん石」とまちがわれて持ち

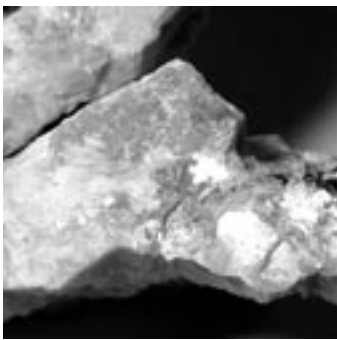
込まれるものには、いろいろなものがありますが、総じて人工のものが多いようです。鉄を精錬したあとの残りかすを固めたものや、リサイクル過程にある金属塊だったりします。しかし、見つけた子にしてみれば、見かけや重さが普段見ている石と違うと、「これはっ!」と思うのでしょうか。

この「普段見ている石」がくせものなのです。たぶん、皆さん一人ひとりが思い浮かべる「普段見ている石」は違います。それはなぜかって? 地方によって、普段見ている石は異なるからなのです。

「きらびく美しさ

蒲郡周辺、三河地方には、いろいろな石があります。その中でも、吉良町の名前の由来が「きらら」、つまり「雲母」の古名から来ていることは、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

雲母は、ぺらぺらとはがれる不思議な石です。割った石の中から大きな雲母が現れると、平らにはがれた面が光をはね返し、まさに「きらら」という感じですよ。風化して細かく砕けた雲母が砂浜に層をなしているのも、まるで砂金をしていたよう。昔の人が、白雲母を和紙にすき込んだ美しい紙を作り出したと聞いて、なるほどと思ったものです。



▲長石の上に花開いた白雲母。光をはね返してきらきらと輝きます。

あじさい祭りの行われる形原温泉をぶらりと散歩していると、まれに敷石に大きな雲母が見ら

れます。次のシーズンには、美しいあじさいの花だけでなく、敷石にもちよつと目を留めてみられてはいかがでしょうか。大輪のあじさいの下、ちいさなきらめきが彩りを添えています。

美しいワイン色のガーネット

蒲郡のあちこちで見られる片麻岩という岩石には、ガーネットやトルマリンといった鉱物が見られる場合があります。これらの片麻岩は、蒲郡周辺で石材として使用されています。

「愛知こどもの国」を散歩していると、敷石や囲いとして使われている片麻岩を貫く白い脈のなかに、小さいザクロの粒のような、美しいガーネットが群れをなしているのに気付くことがあります。



▲こどもの国で見つけた小さなガーネット。赤ワイン色の小さなつぶがたくさん集まっています。

また、黒い柱状のトルマリンも、所々に見られます。紅葉の